（1）　明治20年創刊　第38092号　（第３種郵便物認可）　THE JOMO SHINBUN　2001年（平成13年）4月26日（木曜日）　（日刊）

福田官房長官再任

小泉内閣きょう発足

山崎幹事長、麻生政調、堀内総務会長

尾身氏の入閣有力

堀内 光雄氏

麻生 太郎氏

山崎 拓氏

党首会談では、小泉氏の主張に沿って経済、財政、社会保障などの構造改革推進に取り組む経済財政諮問会議に絞り込んだ。小泉氏は公明、保守両党からは閣僚を出さない代わりに閣僚ポストと与党幹事長ポストを交換する考えを表明、公明党は坂口力厚生労働相を再任させる意向。保守党からは扇千景国土交通相再任が内定した。

小泉氏は同日、記者団に福田官房長官の留任の考えを明言。ほかに小泉氏の総裁選出馬を後押しした麻生太郎氏の入閣が有力、中川昭一氏を内閣官房長官の有力候補に挙げた。

関連2、4、19面

福田氏　手堅い手腕評価　事務所に支持者から激励

小泉新総裁は、党三役、就任時にも小泉氏が起用を軸に据え閣僚人事でも、いち早く福田康夫官房長官の再任を決めるなど、手堅い手腕が評価された形だ。

福田氏内定が報道されたのは二十五日、午前、午後の定例記者会見以外に公式日程はなく、打ち合わせや来客の応対などに終始し自民党本部に詰めていた。会見では早速、小泉総裁の国債抑制策に関する質問も飛び、「党の会見でお尋ねください」とかわした後、「聞くだけは聞いておきましょう」とユーモアを交えるなど、終始リラックスした様子だった。

永田町の議員会館や高級料亭などでは、福田氏内定の情報が流れるたびに、「おめでとう」などと祝福の電話が相次いだ。

福田氏の事務所には朝から大勢の支持者から激励の電話が殺到。事務所の電話は一時、ほとんどつながらない状況だった。

福田氏内定が報道されたのは二十五日、午前、午後の定例記者会見以外に公式日程はなく、打ち合わせや来客の応対などに終始し自民党本部に詰めていた。会見では早速、小泉総裁の国債抑制策に関する質問も飛び、「党の会見でお尋ねください」とかわした後、「聞くだけは聞いておきましょう」とユーモアを交えるなど、終始リラックスした様子だった。

永田町の議員会館や高級料亭などでは、福田氏内定の情報が流れるたびに、「おめでとう」などと祝福の電話が相次いだ